



柿栗レポート

ごあいさつ

蝉の声も聞こえ始め、いよいよ本格的な夏を感じさせる季節になりました。私は毎年夏になると、子供の頃に新城で過ごしたワクワクする楽しい時間を思い出して心躍る日々を過ごしておりますが、皆様はいかがお過ごしでしょうか？

市議会議員としても3回目の定例会を終え、徐々に流れがわかってきたような感じで、まだまだ未熟ではありますが、ここに活動をご報告いたします。

市の事業予算 (ピックアップ)

事業内容	予算額
① トイレ洋式化事業 小学校における新型コロナウイルス感染防止対策として、日常使用される基本 全ての 児童用・職員用トイレを洋式化するための実施設計業務の委託を行います。	17,149,000 円 コロナ交付金 8,426,000 円 コロナ基金繰入金 8,723,000 円
② 学校給食施設改築事業 各小中学校の現給食室を、センターから運ばれてくる給食の受け入れ施設に改修するための測量・調査を行います。 (内容: 愛知県用地使用料・ダイオキシン調査委託・用地測量業務委託・属択登記事務委託・地質調査委託)	50,632,000 円 地方債 47,700,000 円 一般財源 2,932,000 円
③ 農作業省力化支援事業 コロナ禍において、「新しい生活様式」に対応した農業生産を支援するため、国や県の事業では補助対象にならないしない認定農業者などを幅広く対象とし、人との接触機会の現象や密回避、農作業の省力化につながる農業機械等の導入を支援します。	30,000,000 円 コロナ交付金 全額
④ 燃油価格高騰対策支援事業 新型コロナウイルスの感染拡大や国際情勢の影響により燃油価格が高騰する中、国・県の支援策には合致しない経営環境が悪化した茶生産農家に対し、支援金を交付します。	2,731,000 円 コロナ交付金 全額

上記①②を含む第79号議案に、反対の討論をしました。反対の理由は以下の通りです。

- 今後何億円もの費用がかかるトイレ洋式化事業。学校にも怪我をした方や妊婦さんなど、洋式トイレを必要としている人はいるので、一部洋式にすることは賛成だが、全てを洋式にすることには反対。和式トイレには、しゃがむ体勢により排便しやすく痔や憩室炎の予防になる・しゃがんだり立ったりする事で足腰が鍛えられ子宮脱や膀胱脱なども改善されることも考えられる→将来的な医療費削減につながりうる・掃除がしやすく清潔、などのメリットがある。又、蓋をすれば流した時に汚水が飛び散るのを防ぐことができコロナ対策になるとのことだが、次に使用する人が汚水のついた蓋を触ったり、汚水がついた蓋が背中にあたったり、和式と比べ掃除がしにくかったりと、逆に不衛生ではないか。
- 学校給食センター化事業に関しては、厚生文教委員会からも要望を出したり、一般質問でも疑問を呈してきましたが、誠実なお答えがいただけていないだけでなく、未だきちんとした市民説明会も行われていない。PTAや区長会などでは説明をしたとのことだが、話と話の間でサラッと触れられただけで、本当に知りたい内容の説明は愚か、質問する時間さえ与えられなかったとの声も聞こえてくる。少なくとも市民説明会をしっかりと行い市民が納得するまでは、今事業は焦って進めるべきではない。



【加賀プロジェクト研修に参加しました】

近年、現在の教育や食のあり方に疑問を持つ若い世代の人たちが日本中で増加傾向にあり、日本各地でフリースクールや自然栽培・無農薬栽培が注目を集めてきています。また私自身も以前から環境に優しい農林業や自主性を持つことができるようになる教育に変えていくべき「変化の時代」がきていると考えておりました。

加賀プロジェクトは民間のプロジェクトですが、市長を巻き込んで移住者対策の一環としても取り組んでいる先進的な取組で、すでにここ2年で100名以上の方が加賀市に移住して、プロジェクトの一端を担っています。人口規模などに共通点もあり、また、田舎の特徴を活かすと言う点で新城市でも参考にできる事があると考え、研修に参加しました。

6月の請願

学校給食共同調理場(給食センター) 建設延期の請願

(要約)

今事業は以下のような手続の不手際が頻発した。
 ●基本計画の見積もりが紛失 ●入札で2度も入札不調となった ●基本設計後に県有地を取り込まないと建設できないと分かった ●そのため敷地に余裕がなくなった
 また以下の理由により建設が困難な状態になっている。
 ●ウッドショック ●ウクライナ侵攻の長期化による建築資材等の価格高騰 など
 (1) これまでの不手際を反省し、早期に全ての市民に対し市民説明を行うこと。
 (2) 建設を、国内外の情勢が落ち着くまで延期すること。

	採択	趣旨採択	不採択	結果
委員会	3	0	2	採択
本会議	5	7	5	不採択

ワード

しゅしさいたく【趣旨採択】

請願、陳情の願意は妥当であるが、その実現性について、当分の間は不可能である場合、「趣旨には賛成である」という意味の議決を言う。

～ちょっと雑談～

うちのイギリス人旦那。結婚してちょっとの頃。ある週末の朝、旦那を喜ばせようとパンケーキ(ホットケーキ)を作り、別室にいた旦那に「パンケーキ作ったよ～」と声をかけると、嬉しそうにダイニングに入ってきた。が、パンケーキを見るなりがっかりした様子で、次はもっとうすくして!とのこと。薄くとは、アメリカのファーストフード店のものみたいな感じかなあ?と思って、次は牛乳を多めに入れて薄めのパンケーキを作った。それをみた旦那。「もっと薄く!」。せっかく喜んでもらおうと思って作ったのに、注文ばかりつける旦那にちょっと苛ついて、「これ以上薄いって、何?」と聞いたら、ネットで検索して見せてくれた。……ってかこれ、クレープじゃん!! 早く言ってよ
 そうなんです。イギリスの「パンケーキ」とは、ベーキングパウダーを入れないゆるい生地を、バターをひいたフライパンで薄く焼く、まさにクレープでした。ってことは、クレープはフランスのパンケーキかぁ!と、新たな気づきを得た私でした😊ちなみにイギリスでは砂糖と生レモン汁をかけて食べます♪

【カークランド陽子事務所】

住所: 愛知県新城市西新町 29-2

電話: 080 9280 9605

E-mail: info@yoko-kirkland.com

HP: yoko-kirkland.com

ご意見・ご質問・お困りごと等 お気軽にお問い合わせください♪

令和4年6月定例会・一般質問

1、学校給食施設整備事業に対する附帯決議への対応について

令和4年3月議会の際に付された、学校給食施設整備事業（給食センター事業）に対する附帯決議全5項目中、優先的に取り組むべき以下3項目への対応について現在の状況を伺う。

附帯決議の内容		市当局＝市長の答え	
①	これまでの事業・予算執行にかかる不手際については、深く反省・検証し、再発防止を行う事。	これまで不手際については令和3年8月の市議会全員協議会において、当時の市長・教育長がその不手際を認め反省し謝罪した。 再発防止は、これまで足りなかった、専門分野における庁内の横断的な応援体制を改めて構築するとともに、担当部署での事業進捗の徹底管理・決済ルートの見直しを行った。	
②	市民に対しさらなる丁寧な事業説明を積極的に行う事。	児童生徒保護者への周知・市PTA連絡協議会への説明・代表区長会での説明を行った。今後は広報ほのかやHPで事業の進捗について情報提供を積極的に行っていく。	
③	総事業費を早急に示された上で、財政計画及び財源の内訳を示し、将来にわたる市民負担等を明確にする事。	総事業費は現在建築単価の見直し且つ各学校の受け入れ施設の改修費が未定なので今は示せない。➡ 後日、総事業費は約39億円との発表あり。	
再質問		5月に厚生文教委員会から提出した「学校給食共同調理場建設にかかる説明への要望書」と重なる内容があるため、その内容を紹介するとともに再質問します。	
	厚生文教委員会からの要望（一部略）	行政からの回答（一部略）	それに対するカークランドの疑問・要望
1	PTA・保護者に配布した資料「学校給食の共同調理場への移行について」の内容が、あまりに一方的かつ不十分。	これまで議会で答弁した内容を基に資料を作成した。	一部答弁した内容も含まれているが、他にも答弁したことはあるにもかかわらず、載せる内容の選択が一方的かつ不十分である。
2	市の議論では自校式・親子式・センター式のメリットデメリットが出されている（H27学校給食検討資料）。今後の市民説明で「正しく」伝える必要がある。	PTA・保護者に配布した資料にはその記載はなかったので、今後しっかりと情報発信していく。	例えばH27の資料には、自校式のメリットとして例えば「災害時など学校が避難場所になったとき食事の提供が可能となる」がある。センターになれば各学校の調理室から調理機能がなくなるが、では災害時はどうするのか？などの疑問に答える形でやってほしい。➡ 後日、ほのか8月号に掲載されたものも、この疑問には答えていない。
3	センター事業が決定した当初市議会に行った説明とその後発覚した事柄に違いがあったことや、供用開始の時期が2年遅れたことなど、保護者に配られた資料には一切書かれていないが、理由は？	令和3年8月（保護者への資料が配られる半年以上前）の市議会全員協議会において、当時の市長・教育長がその不手際を認め反省し謝罪した。	令和4年に入って保護者に配布された資料に入っていない内容がたくさんあるがそれはなぜかと言う質問なのに、令和3年に議員に対して謝罪したと言うのは、質問の答えになっていない。
4	ウッドショックや急激な円安・国内の物価上昇により事業費の上昇が考えられる。市は市民に丁寧な説明を行う必要がある。	総事業費の公表には慎重に対応しなければいけないと考えている。	これも、質問の答えになっていない。当初議会にはおおよそ20～25億円ではないか、と説明があったが、最近発表された総事業費は約39億円であった。庁舎やもつくるのケースから見ると、今後さらに上がることも考えられる。
5	PTAや区長会だけでなく、説明会を開き多くの意見を聞く機会を設けるべきである。	附帯決議を尊重し、丁寧な説明・積極的な情報発信を行う。	市民の疑問に答えるような機会を作ってほしい。
6	今後の説明会資料には、厚生文教委員会の本要望書を添付してほしい。	説明会資料に、本要望書を添付する考えはない。	この事業はこれまで様々な問題点が議会で指摘されてきたが、行政には、それらの問題点をふまえても尚給食センターにしなければならない理由を、市民に丁寧に説明する義務があると考え、委員会からこの要望を提出した。自信を持って誠実にお答えいただいたのであれば、この要望書はむしろ添付した方が良いのでは？

定例会ごとにこの事業に関する多くの予算が可決されている。市民への説明などの対応をしっかりと、そして早急に行っていただきたい。さらに資材高騰や社会情勢の変化なども踏まえると、この事業は少なくとも一旦立ち止まって、ゼロから検討し直すことがベストではないか？

2、事務事業評価について

事務事業評価とは、限られた予算や職員の事務の効率化を図るため、事業の目的や手段をはっきりさせ、事業目的が達成されているか、費用は適切か、他のやり方はないかなどを点検・評価し、より効果的・効率的な市政運営につなげていくためのものです。

質問1	新城市でも「平成20年度実施計画事業に係る事務事業評価の概要」が作成されており、また、平成24年3月定例会の前市長の発言でも、平成22年に導入した事務事業評価システムを効果的に活用するとあるが、現時点での取り組みの状況を伺う。	回答1	毎年、前年度の全ての事業を対象に事務事業評価を実施している。事業を継続するにあたり必ず見直しを行っている。ただ現在は事務方の視点で作られている。対象事業は約650事業。現在は予算編成システムとは連動していない。
質問2	インターネット検索では新城市の事務事業評価を見つけることができなかったが、今後将来的にインターネット上で市民に公開する意思または予定はあるか。	回答2	各課からの実施計画の提出→計画実施の決定→予算編成→事務事業評価に至るまでのプロセスや公表のための仕様の見直しを行い、行政改革からの視点も視野に入れながら変更し、HPで順次公表する。

他市の例にも見られるような内容（政策―施作―事務事業がわかる、直営か委託か、人件費、国の事業か市の事業か）また、福井県鯖江市のPDCAがわかるような構成なども参考にして、見直し・公表していただきたい。

3、市内こども園と小中学校における、コロナ対策としての施設日常消毒業務について 本市での対応は？

回答	小中学校では毎日専門業者が入る。こども園では時間に制限があるため委託の人員を確保するのが困難であるため、週3回のみ委託業者。その他と机・椅子・アクリル板などは毎日職員が消毒・玩具などは長時間効く薬を使って、職員が消毒している。
再質問	こども園では週2回職員が行っているが、職員の負担にならないか？ 人員確保の問題で週3回しかできないなら残りを職員にやらせる必要はないと思うが、そう言った検討は可能か？
回答	エビデンスに基づいて3回でも良いと言うことであれば、そのような検討も必要であると思う。